

# 令和4年度 組織目標（部局目標）

部局名 総務部



NO.	項目名
1	県庁における健康経営・ダイバーシティ経営の推進
背景・課題（取り組むべき理由）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「滋賀県行政経営方針 2019」において、「健康経営を実践する県庁」を目指す姿の一つと位置づけ、様々な取組を進めているが、職員アンケートの結果には、ワーク・ライフ・バランスやワーク・エンゲージメントの実現等の面で、十分な成果が表れていない。</li> <li>・健康経営・ダイバーシティ推進の取組は一過性のものではなく、継続して取り組んでいく必要があり、働きやすい職場づくりに向けた取組をさらに加速化するとともに、職員が仕事に意欲をもって前向きに業務にあたり、業務を通じて自らの能力を向上させるための取組を強化する必要がある。</li> <li>・職員それぞれが持つ強み（能力・個性）を最大限発揮できる職場づくりを推進し、県庁力最大化を図るために、職員間のコミュニケーションの活性化やチームワークの強化に向けた取組を進めていく必要がある。</li> <li>・「県庁における健康経営計画」「次世代育成支援および女性職員の活躍推進のための取組方針（特定事業主行動計画）」が最終年度となることから、令和4年度中に次期計画および取組方針を策定する必要がある。</li> </ul>	
目標（今年度末に目指す状態）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク・ライフ・バランスの実現ができている職員の割合 80%</li> <li>・仕事に対して意欲をもって前向きに取り組んでいる職員の割合 80%</li> </ul>	
取組内容（事業内容）	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 働きやすい職場づくり             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 健康管理の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場における心の健康づくりの推進のための管理監督者向け研修等の実施</li> </ul> </li> <li>(2) 柔軟な働き方の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度や時差出勤の一層の定着・浸透に向けた制度改正および運用</li> <li>・「男性職員の育児休業 100%宣言（希望する全ての男性職員が育児休業を取得）」の推進</li> </ul> </li> <li>(3) ハラスメントゼロに向けた取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職の意識を変えるための研修等の実施</li> </ul> </li> <li>(4) 業務の見直し                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術を活用した業務の効率化・ペーパーレス化・会議等のオンライン化の推進</li> <li>・業務内容、プロセスの見直しに関する研修の実施</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>2 県庁版「ひとづくり」の取組             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 職員意識・組織風土の改革                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のワーク・エンゲージメントや能力向上に向けたキャリア形成の支援</li> <li>・職員間のコミュニケーションの活性化やチームワークの強化に向けた取組の検討</li> </ul> </li> <li>(2) 「つなぎ・つながる」ひとづくりの推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・マネジメント力の向上等、チーム力の向上に向けた研修の実施</li> <li>・メンター制度など職員同士のつながり、学び合いの仕組みの構築</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>	

# 令和4年度 組織目標（部局目標）



部局名 総務部

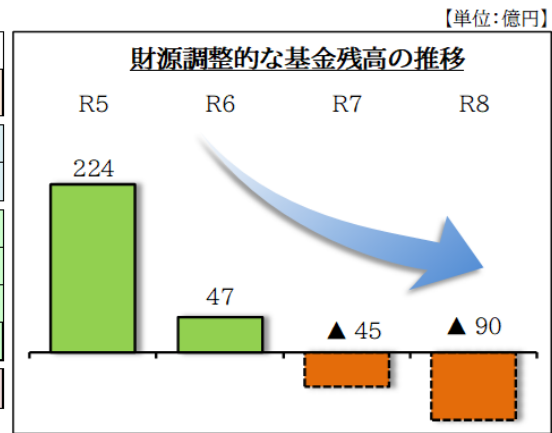
NO.	項目名
2	持続可能な財政基盤の確立

## 背景・課題（取り組むべき理由）

・令和4年3月に公表した「今後の財政収支見通し」においては、令和8年度までの累計で約669億円の財源不足を見込んでいる。また、臨時財政対策債を除く県債残高も増加傾向が続くと見込まれることから、基金残高の確保、県債残高の低減に向けて、今後検討を行い、令和4年度中に対応策を取りまとめる必要がある。

【単位:億円】

		R4	R5	R6	R7	R8
財源不足		▲196	▲205	▲227	▲142	▲95
対応	行革債	45	20	20	20	20
	基金	151	185	207	122	75
基金残高※	期首	500	379	224	47	▲45
	取崩	151	185	207	122	75
	積戻	30	30	30	30	30
	期末	379	224	47	▲45	▲90
県債残高(臨時債除く)※		6,970	7,060	7,190	7,310	7,340



※基金残高および県債残高については、概算額です。

・「行政経営方針2019」も最終年度となることから、令和4年度中に次期行政経営方針を策定する必要がある。

## 目標（今年度末に目指す状態）

- 財政収支の均衡
  - 令和4年度当初予算に計上した歳入確保（19億円）の達成【行政経営推進課・財政課】
  - 令和5年度を始期とする次期行政経営方針における収支改善目標の検討と予算編成段階での反映【財政課】
- 持続的・安定的な県政運営
  - 財源調整的な基金残高 160億円程度を維持【財政課】
  - 臨時財政対策債を除く県債残高 令和4年度末 6,700億円程度【財政課】
- 効果的・効率的な歳出への取組
  - 計画的な公共施設のマネジメントや民間活力の活用等を検討【行政経営推進課】
- 滋賀にふさわしい税制の検討【税政課】

## 取組内容（事業内容）

### 1. 財政収支の均衡

- ・ネーミングライツ売却等の自主財源拡充に向けた関係部局との連携・支援【行政経営推進課】
- ・未利用県有地の売却、県有資産の利活用のための関係部局との連携強化【財政課】
- ・モーターボート競走事業の開催収益の向上【事業課】
- ・収支改善目標の検討結果に基づき、予算編成段階での的確な反映【財政課】

### 2. 持続的・安定的な財政運営

- ・予算編成段階、予算執行段階での目標値達成方策の検討【財政課】
- ・予算編成において政策形成等に資する取組の実現【財政課】

### 3. 効果的・効率的な歳出への取組

#### (1) 公共施設等マネジメントの推進【行政経営推進課】

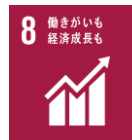
- ・施設の長寿命化対策の推進（予防保全対策の全体調整）
- ・指定管理者制度の見直し  
（競争性の確保および施設の活性化の観点から制度見直しを検討）

#### (2) アウトソーシング等の民間活力の活用の推進【行政経営推進課】

### 4. 滋賀にふさわしい税制の検討【税政課】

- ・「地域公共交通を支えるための税制の導入可能性」について、滋賀県税制審議会から得られた答申を踏まえ、現在進められている「滋賀交通ビジョン」の見直しと並行しつつ、引き続き、庁内での議論・検討を行う。
- ・滋賀県産業廃棄物税のあり方について、庁内での議論・検討を開始し、滋賀県税制審議会に諮問する。

# 令和4年度 組織目標（部局目標）



部局名 総務部

NO.	項目名
3	『選ばれる滋賀』の推進（関係人口創出の強化）
<b>背景・課題（取り組むべき理由）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を受けたテレワーク・兼業副業などの働き方の多様化や、豊かな自然・より良い住環境を求める意識の高まりから、潜在的な移住希望者が大きく拡大しているものと認識。</li> <li>・移住・交流をさらに推進するためには、分野（商工業、農林水産業、住まい、文化・観光資源等）をまたいだ様々な関心やニーズをリアルタイムで把握するとともに、双方向のコミュニケーションによるマッチングが必要不可欠となる。</li> </ul>	
<b>目標（今年度末に目指す状態）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXによりクラウド上で本県に関心を有する方々と関係部局がシームレスにやり取りできている</li> <li>・デジタルプラットフォームへのプロジェクト掲載件数 500件以上</li> <li>・新たな関係人口の創出 3,000人以上</li> <li>・移住施策に取り組む市町への県外からの移住件数 200件以上</li> </ul>	
<b>取組内容（事業内容）</b>	
<p>市町の地方創生・地域づくりの取組支援</p> <p>(1) 市町における地方創生の取組支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き「しがI J U(いじゅう)相談センター」を中心として、コロナ禍でも効果的に事業展開を図るため、リアルとオンラインツールのハイブリッドによる移住体験をはじめとする新たな体験価値の創出等により、滋賀の魅力ある「かかわりしろ」を全国へ広く発信。</li> <li>・全国から滋賀へ人材を呼び込むためのデジタルプラットフォームの導入、さらには滋賀に集まる人が地域をめぐり、にぎわいを生み出す仕組みとしてデジタル地域コミュニティ通貨の導入等、庁内関係課および市町等と連携しながら、相互補完により新たな関係人口の創出や移住・交流を推進。</li> <li>・「県・市町まち・ひと・しごと総合戦略連携推進会議」等を通じ、市町における国交付金採択等を支援。</li> </ul> <p>(2) 市町における地域づくりの取組支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「未来を拓く地域づくり推進事業」等により、地域自らの課題解決能力向上や先進的な取組の導入を通じた市町のコミュニティ活性化の取組を支援。</li> <li>・滋賀県離島振興計画や滋賀県過疎地域持続的発展方針および計画に基づいて、地元・関係市・庁内関係課との連携による沖島や過疎地域における振興・活性化の取組の推進。</li> <li>・自治振興交付金について、市町のニーズや時代の要請に応じて不断に見直す。</li> </ul>	

令和4年度 組織目標（部局目標）

CO<sub>2</sub>

ネットゼロ

部局名 総務部

NO.	項目名
	<p>¢ £</p>
<p>背景・課題（取り組むべき理由）</p>	
<p>w 2050 w</p>	<p>s ¢ £ “ s t s w s t</p>
<p>目標（今年度末に目指す状態）</p>	
<p>w w wCO2 wCO2</p>	<p>t</p>
<p>取組内容（事業内容）</p>	
<p>¡ w w ¡ w w w ¡ w ¡ w</p>	<p>§ ¥ ¢ 1,100 ¥ “   5...5~5} ¥ ¢ § ¥ § ¥ s s ¥ s s t s s s t s s t s § t</p>